

在日ビルマ市民労働組合（FWUBC）主催

シンポジウム

ビルマ民主化のゆくえ

（ミャンマー）

2022年 2月1日（火）

11:00～13:00

【会場】 連合会館 4階402会議室

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

* 千代田線 新御茶ノ水駅下車（徒歩0分）

【申し込み】 メール：soumu_shukketsu@jam-union.jp

【協力団体】 JAM、連合 **定員50名 申し込み必須**



ビルマは軍事政権の時代におわりをつけ、2011年に民政移管されました。ところが、2021年2月1日に軍事クーデターがおきました。大規模な抗議デモが各地でおこったものの、ビルマ軍によって2022年1月現在までに1万人以上がつかまり、1400人以上が虐殺されました。

この1年間、ビルマではどのような事態が進行しているのでしょうか。日本のビルマ人たちは、どのような行動をとっているのでしょうか。難民や技能実習生は、これからどうなるのでしょうか。そして、ビルマと日本との関係は今後どうなるのでしょうか。

ふたりのビルマ人活動家および日本人ジャーナリストの語りによって、それらを解きあかしてゆきます。みなさんの参加をおまちしています。

【語り手】

ティンウィンさん
(ビルマ民主化活動家
元在日ビルマ市民労働組合会長)



北角祐樹さん
(ジャーナリスト)



ミンスイさん
(在日ビルマ市民労働組合会長)



演者や主催側の都合により、会場や日時などの変更があります。あらかじめ確認してください。